

（管理規則第3条実施要領 別紙様式）

2015年度（平成27年度）学校評価自己評価表

I 福山市 めざす子ども像

福山に愛着と誇りをもち、変化の激しい社会をたくましく生きる子ども

II 中学校区

1 めざす子ども像

- 自ら学び考える子
 心豊かでたくましい子

2 児童生徒の現状

知 「基礎・基本」定着状況調査等の結果から、基礎的・基本的な力は定着しつつあるが、まだ十分身に付いていない。こうした課題を解決するために、日々の授業において学習意欲を高める手立てや指導方法の工夫・改善が必要である。

徳 校区4校においては、全体的に落ち着いた学校生活が確保できている。また、アンケート結果から見ると児童生徒の自己肯定感が向上してきた。この状況をさらに発展させていくためには、個々の児童生徒に応じたきめ細やかな指導がいっそう必要である。

体 体力向上の取組みにより、成果は見られるものの、校区の傾向として投力及び走力、持久力に課題が見られる。

3 課題

- 学習意欲の向上による基礎・基本の定着と、思考力・判断力・表現力の育成
 規範意識や自己肯定感を育成する生徒指導の推進
 健康・体力づくりの推進

III 自校

1 学校教育目標

心やさしく、創造性豊かで、生きぬく力を持った旭っ子の育成

2 経営理念

(1) 中学校区における自校の使命（ミッション）

未来の建設に役立つ子どもの根っこを育てる

東中学校区

校番 10

福山市立旭小学校

(2) 使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像（ビジョン）

通ってよかった 通わせてよかったと満足感のあられる学校

- (1) 児童は、「自ら考え学び合い」「やさしさ」「たくましさ」を身につけている。
 (2) 教職員は、「わかる授業」「自己エンジン」「協働」を誇りにしている。
 (3) 学校は、保護者・地域とつながり、双方向の関わり合いを大切にしている。

3 前年度重点目標と達成状況

前年度重点目標	達成状況
・小中一貫教育の推進	・9年間を見通した取組みを進め、小中の連携を密にし学力や生徒指導の課題克服に努めている。
・基礎学力の定着と授業改善	・国語・算数・理科の基礎基本の力が定着しつつある。国語科を中心に思考力・判断力・表現力育成のための授業づくりをしている。
・規範意識・自己肯定感の向上	・校区スタンダード・旭スタイルを活用した組織的な生徒指導を徹底させ、規範意識・自己肯定感共に高まっている。
・体力（持久力）の向上	・取組みにより徐々に体力向上している。

4 本年度重点目標と設定理由

重点目標	設定理由
・小中一貫教育の充実	・小中一貫教育が本格的に実施され、9年間を一体的に捉えた教育活動を充実させるため。
・学習意欲を高めた基礎学力の定着と授業改善	・児童の学力が十分定着しておらず、学力向上のための授業力をつけるため。
・規範意識・自己有用感の向上	・規範意識・自己有用感を高め、組織的・積極的生徒指導を徹底させるため。
・体力の向上	・体力テストの結果、走力、投力、柔軟性に課題があるため。

5 前年度の学校関係者評価結果を踏まえた改善点

・国語科を中心とした授業づくりにより、児童に表現力がついてきている。

※ 評価基準

評価・指標評価	基準	
A・a	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた
B・b	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた
C・c	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた
D・d	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
E・e	40%未満の達成度	目を成できなかった

自己評価（中間）の基準は、10月20日までの計画に対する達成状況とする。

IV 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点 分 類	短期経営目標	() 評価	評価項目・指標等 (△成果 ▽取組み に着目)	() 指標 評価	□ 評価項目・指標等 ○ 短期(中期)経営目標 の達成状況 ◎ 改善方策
確かな学 力	1	学習意欲の向上による基礎学力の定着と、思考力・判断力・表現力の育成	★	学習意欲を高め、学習内容の確実な定着のための基礎学力をつける。 (5年基礎基本定着状況調査で県平均以上、標準学力調査で全学年全国平均以上)		▽△「分かるうタイム」を毎月、チャレンジプリント(国語・算数・理科)を毎日実施し、3教科の単元テストで70%未満を15%以下にする。		
				▽△自ら考え学ぶ授業を実施するとともに3教科のノートに教師評価を入れ、「学習意欲が高まった。」の児童の肯定的評価を85%以上にする。				
				学習や生活に活用できる表現力をつける。 (児童肯定的評価85%以上)		▽△週3回の「朝の音読」と、毎日の「すらすら音読」に取り組み、毎学期全員が3枚以上合格する。		
				▽「ことばの時間」を年10回設定し、論理的思考を高める。「根拠をもとに自分の考えを表現できる。」の教師の肯定的評価を75%以上にする。				
豊かな心	1	規範意識や自己有用感を高める積極的な生徒指導の推進	★	学校のきまりを守り、自分の生活をよりよくしていこうとする児童にする。 (児童肯定的評価92%以上)		△▽校区スタンダードの取組みを進め、挨拶・掃除・時間・廊下を歩く・身だしなみの5項目の児童の肯定的評価を92%以上にする。		
				△▽「東中学校区学習の基礎・基本ハンドブック」を活用し、「学習のきまりを守って授業にのぞんでいる。」の児童の肯定的評価を92%以上にする。				
				進んで仕事を行い、成就感と自信に満ちた児童にする。 (児童肯定的評価85%以上)		▽帰りの会でお互いの良いところを認め合える場を実施可能な日の85%以上実施する。教師の評価もその都度実施する。		
				▽学年・学級通信で児童の頑張りを、1学期間に1回以上紹介し、「自分は役に立っている。」の児童の肯定的評価を85%以上にする。				

<p>健やかな体</p>	<p>1 体力づくりの推進</p>	<p>★ 新規</p>	<p>運動の楽しさやよさをもたせ、体力を向上させる。(新体力テスト県平均以上の項目を88%以上)</p>	<p>▽△毎時間の体育授業で、セット運動(遠投練習、ストレッチ運動)を取り入れ、投力、走力・柔軟性を全学年県平均以上にする。 △▽にこにこパワーアップタイムを毎月計画的に実施するとともに、週1回学年ごとに体力アップの運動(走力、投力、握力、柔軟性)を実施する。</p>	
<p>力量ある教職員</p>	<p>1 専門性や指導力・組織力の向上</p>	<p>★ 新規</p>	<p>「自ら考え学ぶ授業づくり」のための授業改善をし、組織力・指導力を高める。(教師の肯定的評価90%以上)</p>	<p>▽国語科の授業研究を年12回実施し、毎回事前に板書計画を考え、研修で学んだことを自分の授業に活かす。「学びを自分の授業に活かすことができた。」の教師の肯定的評価を90%以上にする。 △つけたい力を明確にした授業づくりを行い、「先生の授業はわかりやすい。」の児童の肯定的評価を90%以上にする。</p>	
<p>市民から信頼される学校</p>	<p>1 保護者・地域に愛される学校づくりの推進</p>	<p>新規</p>	<p>学校の情報を積極的に発信し、学校への理解や信頼を得る。(保護者・地域肯定的評価90%以上)</p>	<p>▽学校だより・学年だより・保健だより毎月1回以上、学級だより2回以上発行するとともに、学年の様子を月1回以上、児童の様子を週に3回以上HPで発信する。 ▽教職員は進んで地域の行事に年4回以上参加する。</p>	